

令和5年度第1回庄原市道徳教育推進委員会研修会 兼庄原市人権教育研修会

- 日時：令和5年6月30日（金） 14：00～16：35
- 場所：口和自治振興センター
- 対象者：庄原市内各小・中学校の道徳教育推進教師22名

目的

- ・道徳教育推進教師としての役割を理解するとともに、校内における道徳教育推進及び充実を図るための方策について1年間の見通しをもつことができる。
- ・模擬校内研修を通して、「深い学び」となる授業づくりのポイントについて理解することができる。

講話・交流 「道徳教育推進教師の役割と今年度の計画について」 『特別の教科 道徳』における適切な評価について」

庄原市教育委員会 教育指導課 指導主事 砂走 敏和



【講話・交流の概要】

- 昨年度から作成している活動計画について確認するとともに、「道徳教育 研修ハンドブック」や他校の実践予定の計画を参考に、道徳教育推進教師としての役割を理解するとともに、1年間のスケジュールの作成を行った。
- 道徳科の適切な評価について、文例をもとに演習を行った。評価するうえでのポイントについて、共通認識を図った。

【参加者から】

- ・ 活動計画をもとに、効果的な研修や交流等を行っていきたい。
- ・ 自校の全体計画が形骸化しており、重点目標などを意識した取組が十分行われていないため、全体で確認及び方針の検討をする。
- ・ 学校にある地域教材の発掘や道徳参観日の計画を行っていく。

講話・演習 「映像資料を活用した校内研修の実際について」

広島県教育委員会 義務教育指導課 指導主事 宮岡 大輔



【講話・演習の概要】

- 広島県が作成している道徳教育アーカイブを視聴した。
中学校第3学年の教材「二通の手紙」をもとに、指導の工夫等について交流した。
本資料には、学習指導案がついており、校内研修を実施するにあたって、多くの準備は必要ない。また、映像資料の授業づくりを参考に、自校の研究と関連付けることや、校内において道徳について話題とすることで校内研修を充実させることができる。

【参加者から】

- ・ 映像資料を活用した校内研修は、理論と実際が同時に捉えやすいと感じた。
- ・ グループで協議した際に、たくさんの視点があり気付かされることが多かった。自校でも教職員で道徳科について議論することが大切だと感じた。
- ・ 校内研修の内容について、何を実施したらよいか困ることが多いので、今回のような資料を活用していきたい。